

発言者	発言要旨
井上委員	<ol style="list-style-type: none"> 1 企業内保育所の整備促進で、アドバイザーを派遣とあるが、共同利用型の方が課題が多いと聞いている。アドバイザーには、どのような人を想定しているか。 2 企業内保育所の設置に対して、500万円を上限に補助とあるが、一般的には、初期投資にはどれくらいかかるのか。 3 県庁保育所は改修にいくらかかったか。また、県庁保育所はアドバイザーの助言を受けたのか。 4 女性の再就職支援で、介護や保育の有資格者540人を対象に福祉施設で実習を行うとのことだが、どのような内訳か。また、主婦向けの職場体験として2社を訪問するとあるが、訪問先は参加者が選べるのか。 5 「食」の観光推進事業で情報誌を発行するとあるが、何部発行して、どこに設置するのか。 6 埼玉アニメ・マンガフェスティバル（仮称）を開催するとのことであるが、一過性ではなく、アニメファンを常時巻き込めるような事業として、どのようなものを考えているか。
ウーマノミクス課長	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度相談を受けた企業の状況をみると、保育所設置の初歩的な部分から対応していく必要がある。そこで、アドバイザーには実際に企業内保育所の設立に携わった経験のある人を中心に考えている。共同利用型だけではなく、単独型にも派遣する。 2 今年度の事例では、新築の場合で約1,400万円、既存施設の改修による場合で600万円から1,000万円くらいであった。 3 県庁保育所の事業費は約2,600万円であった。給排水や空調設備の改修が必要であったために費用がかかった。また、既に企業内保育所を設置した企業の担当者からも意見を伺った。 4 明確な内訳は設けていないが、介護が多くなると考えている。職場体験は、女性キャリアセンターで実施するほか、市町村とも連携して各地で行うこととしており、地元の協力を得ながら職場体験の場を提供する。
観光課長	<ol style="list-style-type: none"> 5 5万部発行し、駅や観光施設に設置するほか、観光物産プロモーションの場やイベント等でも配布するなど、効率的、効果的な配布

発 言 者	発 言 要 旨
観 光 課 長	<p>に努めたい。また、ホームページやSNSなどを活用して情報の拡散に努めるとともに、マスコミ等にもPRしていく。</p> <p>6 今年度、鷲宮や川越でスマートフォンを活用したAR（拡張現実）事業を行っている。この事業は引き続き来年度も行う。アニメは我が県の重要な観光資源なので、観光プロモーションの中でも活用していく。また、民間のイベントにも参加するなど、様々な機会を捉えてPRしたい。</p>
井 上 委 員	<p>県庁保育所の運営そのものが他のモデルとならなければならない。アドバイザーは共同利用型の設置経験者でなくてよいのか。設置を進めるには、これまでに設置の検討をしていないような所にも働き掛ける必要があると思うがどうか。運営費の補助は厚遇し過ぎではないか。目標は単独型6か所、共同型4か所とあるが、大手頼みではないのか。</p>
ウーマノミクス 課 長	<p>企業内保育所を設置している企業の担当者など、事業の進め方を熟知している方や共同設置した企業の担当者にアドバイザーをお願いするとともに、保育所設置のための説明会を開催する。これまで、工業団地や商業施設にも訪問し働き掛けてきたが、今後も広くPRしていく。共同で設置をするのは中小企業が多いと考えており、最初の3年間までは漸減する形で支援していき、その後は自立してもらおう。大手だけでなく中小の福祉施設や美容院からも相談がきている。</p>
井 上 委 員	<p>1 県庁保育所をどう軌道に乗せるのか。企業内保育所設置・運営支援事業では約7,000万円の予算で10施設100人の定員を増やすとのことだが、投資の効果をどう見ているか。</p> <p>2 自動車で県内に訪れる方も多く、車による観光需要も高い。高速道路のサービスエリアやパーキングエリア、道の駅などを活用して、自動車で訪れる方に向けても、PRしていく必要があると思うがどうか。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
ウーマノミクス 課 長	<p>1 県庁保育所は施設改修や備品等の整備を終え、内覧会、企業説明会、親子見学会などを開催した。4月入園の希望者も出てきているが、4月に定員を満たすのは難しい。年度途中で産休・育休から復帰する人も多いので、引き続きPRする。共同設置の難しさも含め、民間の設置につなげていきたいと考えている。また、整備費7,000万円のうち、施設整備として5,000万円、運営費補助として2,000万円を計上している。補助金は5人以上の定員の施設を対象としており、1か所につき10人前後と考えている。認可保育所に比べても、割高とは考えていない。</p>
観 光 課 長	<p>2 県内の観光地を自動車で巡る方は多い。今後、サービスエリアやパーキングエリア、道の駅などに情報誌等を設置し、自動車で訪れる方に向けてのPRに努めていきたい。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
井 上 委 員	<p>高坂中継ポンプ所に小水力発電設備が設置されているが、上赤坂中継ポンプ所の拡張工事に当たって、小水力発電設備の設置は検討しなかったのか。</p>
水道管理課長	<p>小水力発電設備を設置するためには、余剰圧力が必要である。上赤坂中継ポンプ所を含め、浄水場、送水管路及び中継ポンプ所において設置可能かどうか検討したところ、高坂中継ポンプ所以外に設置に適する場所はなかった。</p>